

環境調査結果のお知らせ

令和8年5月28日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、微細藻類の一種が最高で23,300 cells/mL確認されました。現在、湾内で確認されている緑の着色は、当該プランクトンが原因であると考えられます。海や養殖魚、貝類の状態に変化が生じた場合や不安を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

このほか、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で600 cells/mL、カレニア・ミキモトイが最高で1 cell/mL、ケラチウム属が最高で10 cells/mL確認されました。また、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が最高で3 cells/mL（勢井 5 m）、下痢性貝毒の原因種であるディノフィシス・アキュミナータが最高で1 cell/mL（大室戸 10 m及び大谷漁港内 0 m）確認されました（表未掲載）。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ	カレニア・ ミキモトイ	ケラチウム 属	微細藻類の一種
1 避難漁場 (7.6m) 【10:07】	0	23.7	33.4	7.5	0	0	0	450
	2	23.7	33.7	7.5	-	-	-	-
	5	23.6	33.8	7.5	0	0	0	600
	10	23.6	33.9	7.3	-	-	-	-
	底層 23.5	23.4	34.2	6.8	-	-	-	-
A ガラク (5.2m) 【10:01】	0	24.1	32.6	7.4	0	0	0	8,450
	2	23.7	33.6	7.6	0	0	0	6,900
	5	23.6	33.9	7.5	0	0	0	2,350
	10	23.6	34.0	7.2	0	0	3	450
	底層 14	23.4	34.1	6.8	-	-	-	-
B 勢井 (3.9m) 【10:17】	0	24.0	33.3	8.2	0	0	0	6,800
	2	23.8	33.6	8.2	0	0	0	17,000
	5	23.6	33.9	6.7	0	0	0	900
	10	23.5	34.1	6.8	0	0	0	350
	底層 18.5	23.0	34.1	5.6	-	-	-	-
C 馬の背 (4.1m) 【10:23】	0	24.0	33.6	7.5	20	0	0	8,000
	2	23.8	33.6	7.5	0	0	0	1,500
	5	23.6	33.9	7.3	10	0	0	1,000
	10	23.5	34.1	6.8	0	0	0	900
	底層 19	23.1	34.3	6.2	-	-	-	-
D 大室戸 (2.7m) 【09:43】	0	24.2	33.5	8.2	20	0	0	17,900
	2	23.7	33.7	8.3	0	0	0	18,800
	5	23.6	33.9	7.4	0	0	7	8,750
	10	23.5	34.0	6.8	0	0	0	3,600
	底層 19	23.2	34.3	6.8	-	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ	カレニア・ ミキモトイ	ケラチウム 属	微細藻類の一種
E 白浜 (3.3m) 【09:52】	0	23.7	33.4	8.2	0	1	0	12,400
	2	23.7	33.6	8.2	0	0	1	3,000
	5	23.5	34.0	7.2	0	0	0	1,150
	10	23.3	34.1	6.5	0	0	0	1,500
	底層 18	22.9	34.2	5.8	-	-	-	-
F 大谷漁港内 (2.8m) 【10:34】	0	24.2	29.2	7.6	600	0	0	8,100
	2	23.7	33.5	8.0	0	0	0	11,900
	5	23.6	33.8	7.9	0	0	0	6,300
	底層 8.5	23.6	33.9	7.2	-	-	-	-
G 湾奥ブイ (3.2m) 【09:32】	0	24.0	33.6	8.2	40	0	0	20,100
	2	23.7	33.6	8.2	0	0	0	23,300
	5	23.7	33.9	7.8	0	0	10	10,200
	10	23.6	34.0	7.0	0	0	0	1,500
	底層 15.5	23.3	34.1	6.3	-	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
ヘテロシグマ・アカシオ	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	4～8月
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	6～8月
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



1: 避難漁場

A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 白浜

F: 大谷漁港内

G: 湾奥ブイ

ヘテロシグマ・アカシオ

最大細胞密度



カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



ケラチウム属

最大細胞密度



微細藻類の一種

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

(単位； cells/mL)



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

